


【小学校低学年向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
1		絵本おこりじぞう (絵本) 1979年出版 金の星社	山口 勇子／原作 沼田 曜一／語り 四国 吾郎／絵 Eオ 24×25cm	43	原爆が投下された広島で、1人の女の子がお地蔵さんの前で力尽き倒れました。お地蔵さんの笑顔が怒りに変わり、その目からは涙が...
2		おおきなかぶ (絵本) 1966年出版 福音館書店	内田 莉沙子／訳 佐藤 忠良／絵 Eオ 20×27cm	43	おじいさんが育てた大きなかぶ。1人ではとても抜けません。おばあさんと孫娘、動物たちが力を合わせます。「うんとこしょ、どっこいしょ」
3		おばけリンゴ (絵本) 1978年出版 福音館書店	ヤーノシュ／絵・文 Eオ 29cm	44	貧しい青年ワルターの願いが叶い、リンゴの木に初めて実がなりました。ところが、そのリンゴはとてつもなく大きなおばけリンゴだったのです。
4		かいじゅうたちのいるところ (絵本) 1975年出版 富山房	モーリス・センダック ／絵・文 Eカ 24×26cm	43	大あばれをしてお母さんに夕食抜きにされたマックスは、怪獣たちの島へ行き、王様になり大騒ぎ。ユニークで想像力に満ちた怪獣たちが登場する。
5		ぐりとぐら (絵本) 1980年出版 福音館書店	中川 李枝子／文 大村 百合子／絵 Eク 19×27cm	43	ぐりとぐらは森で見つけた大きな卵でカステラをつくることにしました。すると、においに誘われて森中の動物たちが、どんどん集まってきました。
6		さっちゃんのまほうのて (絵本) 1985年出版 借成社	たばた せいいち ／絵・作 Eサ 27cm	43	右手の障がいのために悲しい出来事にぶつかったさっちゃんに、お父さんは「さちこの手はふしぎな力が伝わってくる魔法の手だ」と話します。
7		スイミー (絵本) 1979年出版 好学社	レオ・レオニ／作 Eス 28cm	43	大きなまぐろに怯えて岩陰にかくれていた仲間たちに、スイミーは呼びかけます。「でておいでよ！」スイミーの知恵と勇気が皆の力になりました。

【小学校低学年向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
8		すてきな三にんぐみ (絵本) 1991年出版 偕成社	トミー・アンゲラー ／絵・文 Eス 30cm	43	とても恐ろしい山賊三にんぐみ。ティファニーちゃんに、奪った宝をどうするのと訊かれて考え込みました。すてきな三にんぐみと呼ばれるようになったのはなぜ？
9		タンゲくん (絵本) 1992年出版 福音館書店	片山 健／絵・文 Eタ 29cm	43	ある日、うちの猫になった片目のタンゲくん。わたしの知らない所で何をしているのかな？外で会っても知らん顔だけど・・・やっぱり愛しいタンゲくん。
10		ちいさいおうち (絵本) 1979年出版 岩波書店	バージニア・リー・ バートン／絵・文 Eタ 29cm	43	静かな田舎の丘の上、美しく四季の中でちいさいおうちは幸せでした。時間が経つにつれて、家の周りは騒々しい空気の汚れた都会になって行きました。
11		ちいちゃんのかげおくり (絵本) 1982出版 あかね書房	あまん きみこ／文 上野 紀子／絵 Eチ 26cm	43	ちいちゃん、たった一人防空壕の中で、お母さんとお兄ちゃんを待ちました。そして、お父さんが教えてくれた「かげおくり」の夢を見ました。
12		デイビッド がっこうへいく (絵本) 2001年出版 金の星社	デイビッド・シャノン ／絵・文 小川 仁央／訳 Eテ 29cm	44	遅刻する、ふざけまわる、けんかする。デイビッドは学校でもしたい放題です。とうとう先生は「くちでいってもきけないのなら・・・」と罰を与えますが・・・
13		トビウオのぼうやはびょうきです (絵本) 1982年出版 金の星社	いぬい とみこ／文 津田 櫓冬／絵 Eト 24×25cm	43	美しい南の海が、爆発で恐ろしい死の海に変わってしまいます。トビウオのぼうやも重い病気になりました。生きものへのアイがこめられた絵本です。
14		ともだちや (絵本) 1998年出版 偕成社	内田 麟太郎／文 降矢 なな／絵 Eト 25cm	43	さびしがりやのキツネは、1時間100円で「ともだちやさん」の商売を始めました。でも、オオカミに「ともだちからかかねをとるのか！」と言われて・・・

【小学校低学年向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
15		どろんこハリー (絵本) 1964年出版 福音館書店	ジーン・ジオン／文 マーガレット・ブロイ グレアム／絵 Eト 31cm	43	お風呂が大嫌いなハリーは、ブラシを隠して家から逃げ出しました。泥んこ遊びをして、まっくろで家に戻ると誰もハリーだとわかってくれません。
16		のんちゃん (絵本) 1996年出版 小峰書店	ただの ゆみこ ／絵・文 Eノ 25cm	44	1年生になって、のんちゃんを初めて見たときは、あれ？と思ったよ。なんか変だなんて。だって、何を言っているのかさっぱりわからなかったからさ。
17		はじめてのキャンプ (児童読み物) 1984年出版 福音館書店	林 明子／作・絵 J913/ハヤ 22cm	43	なほちゃんは、大きな子たちとキャンプに行きたくてたまりません。小さな子はいろいろなことができないかあだめだと言われてがんばりますが...
18		花さき山 (絵本) 1978年出版 岩崎書店	斉藤 隆介／文 滝平 次郎／絵 Eハ 25cm	43	花さき山のいちめんの花は、自分のことより人のことを思って、涙をこらえてしんぼうした人のやさしさとけなげさが咲かせた花なのだという。
19		はらぺこあおむし 1989年出版 偕成社	エリック・カール ／絵・文 Eハ 22×31cm	44	小さなあおむしは、おなかがぺこぺこです。一週間どンドン食物を食べ続け、ふとつちよで、はらぺこでなくなったあおむしは。変身の時を迎えました。
20		ふゆめがしょうだん (写真絵本) 1990年出版 福音館書店	富成 忠夫／写真 茂木 透／写真 長 新太／文 Eフ 26cm	44	春の芽生えを待つ冬芽は、まるで誰かの顔のようです。ウサギやコアラ、帽子をかぶった子どもの顔。その顔は、みんな歌っているようです。
21		まちんと (絵本) 1978年出版 偕成社	松谷 みよ子／文 司 修／絵 Eマ 22cm	42	原爆で傷ついた幼い子。トマトを口に入れてやると、「まちんと(もうちよつと)」と言ってほしかった。お母さんは焼け落ちた町でトマトを探した。

【小学校低学年向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
22		もぐらものがたり (児童読み物) 1983年出版 あすなる書房	棕 鳩十／作 小野 かおる／絵 J913ムク 23cm	43	暗い土の下の世界で、モグラのお母さんは住み心地のよい巣とトンネルを掘り、赤ちゃんたちを育てています。時には敵と戦うこともあります。
23		やまんばのにしき (絵本) 1967年出版 ポプラ社	松谷 みよ子／文 せがわ やすお／絵 Eヤ 27cm	42	村人は祟りを恐れ、やまんばに餅を届けようとしますが、誰もいこうとしません。しかたなく七十すぎの婆さまが一人で餅を届けに行くことになり・・・
24		わすれられないおくりもの (絵本) 1986年出版 評論社	スーザン・バーレイ ／絵・文 Eワ 22×27cm	44	大切なアナグマを失い、深い悲しみに沈む森の仲間たち。やがて春が訪れ、皆はアナグマが心に残してくれた暖かなおくりものに気づくのです。

【小学校中学年向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
1		あらしのよるに (絵本) 2000年出版 講談社	きむら ゆういち／文 あべ 弘士／絵 Eア 24cm	40	嵐の夜、逃げ込んだ小屋の中。ヤギとオオカミは、暗闇で何も見えず、風邪のために鼻も利かず、相手が誰かわかりません。話をするうちにすっかり気があってしまい……
2		おこりじぞう (児童読み物) 1982年出版 新日本出版社	山口 勇子／作 四国 五郎／絵 J913ヤマ 22cm	44	「かあちゃん、水！」おこりじぞうが流した涙の滴を飲み終えて、女の子の命が消えた時、じぞうの顔は粉々に砕け、小さな砂粒となって散った。
3		からすたろう (絵本) 1979年出版 偕成社	八島 太郎／文・絵 E力 31cm	44	さびしい山奥から一人で学校に通い、クラスになじむことのない少年。でも、担任の先生は少年の自然を観察する力が優れていることを知っていた。
4		じごくのそうべえ (絵本) 1978年出版 童心社	田島 征彦／作 桂 米朝 上方落語地獄八景より Eシ 26×26cm	43	地獄行き途中で意気投合したそうべえと三人の仲間。えんま様のお裁きもなんのその。とうとう地獄を追い出されてしまいました。
5		しろいうさぎとくろいうさぎ (絵本) 1980年出版 福音館書店	ガース・ウィリアムズ ／文・絵 Eシ 31cm	43	しろいうさぎとくろいうさぎは、森で楽しく過ごしていました。ある日くろいうさぎは何か考え込み、ふと悲しそうな顔を見せました。
6		スーホの白い馬 (絵本) 1967年出版 福音館書店	大塚 勇三／再話 赤羽 末吉／画 Eス 23×31cm	44	モンゴル草原に貧しいけれど働き者のスーホという羊飼いの少年がおりました。スーホと白い馬との強い絆が馬頭琴という楽器を生み出しました。
7		すみれ島 (絵本) 1991年出版 偕成社	今西 祐行／文 松永 貞郎／絵 Eス 25cm	43	子どもたちから届けられたすみれの花束を胸に、特攻隊の兵隊さんたちは出撃していきました。南の海にすみれの花が咲く無人島があるといます。

【小学校中学年向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
8		チロヌップのきつね (絵本) 1972年出版 金の星社	高橋 幸宏／文・絵 Eチ 24×25cm	43	きつねの親子は、番小屋の老夫婦に見守られ、平和に暮らしていました。この島にも兵隊が上陸し、親子は容赦なく戦いに巻き込まれていったのです。
9		ひろしまのピカ (絵本) 1980年出版 小峰書店	丸木 俊／絵・文 Eヒ 24×25cm	44	七歳のみいちゃんは、朝食中、一瞬の間に原爆にあいます。母さんは傷ついた父さんを背負い、みいちゃんの手を引いて、火の海の中を逃げました。
10		びゅんびゅんごまがまわったら (児童読み物) 1982年出版 童心社	宮川 ひろ／作 林 明子／絵 Eヒ 21×23cm	43	こうすけの怪我が原因で、自然林の遊び場に鍵がかけられてしまいました。鍵を開けてくれるようお願いに行くと、校長先生は難題を出してきました。
11		ふしぎなたけのこ (絵本) 1966年出版 福音館書店	松野 正子／文 瀬川 康男／絵 Eフ 19×27cm	44	海から遠く離れた山奥の村で、たけのこは一番のごちそうでした。ある日、「たろ」をのせたままたけのこは雲の上までぐんぐん伸びていき...
12		雪わたり (児童読み物) 1973年出版 福音館書店	宮沢 賢治／作 堀内 誠一／画 J913ミヤ 21cm	43	四郎とかん子の兄妹は、雪の凍った月夜の晩、キツネの紺三郎の招待で、キツネ小学校の幻燈会に行きました。さあ、どんな幻燈を見るのでしょうか。
13		わたしのいもうと (絵本) 1987年出版 偕成社	松谷 みよ子／文 味戸 ケイコ／絵 Eワ 25cm	43	私の妹は、引っ越してきた町の小学校でいじめにあい、心を閉ざしてしまいました。ただ、ひとり部屋で鶴を折っている。気がつくとも私も鶴を折っている。

【小学校高学年向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
1		絵で読む広島原爆 (科学絵本) 1995年出版 福音館書店	那須 正幹／文 西村 繁男／絵 J319ナ 27×31cm	46	原爆投下で壊滅的な被害を受けた広島の様子が、生存者の証言を再現した絵と文で語られていく。核を兵器として使うことの恐ろしさが伝わってくる。
2		おこんじょうり (絵本) 1974年出版 理論社	さねとう あきら／文 井上 洋介／絵 Eオ 26cm	43	いたこの婆さまは、占いが大失敗して気落ちして寝込んでしまった。ある夜、ごちそうしてやったきつねが、お礼にじょうりを語ってくれた。
3		小僧の神様・一房の葡萄 講談社少年少女日本文学館5 1986年出版 講談社	志賀 直哉 有島 武郎 武者小路 実篤 J918シヨ 22cm	43	社会に対してナイーブな正義感を持ち、己の良心の命じるままに人間らしく生きようとした白樺派の作家3人の作品を収録。注釈、イラスト解説付き。
4		おとなになれなかった弟たちに… (児童読み物) 1983年出版 借成社	米倉 斉加年／作 913.6ヨネ 27cm	43	戦争ではたくさんの人たちが死にます。そして老人、女、子どもと、弱い人間から飢えて死にます。ぼくはひもじかったことと、弟の死は、一生忘れません。
5		しらんぷり (絵本) 1997年出版 ポプラ社	梅田俊作・梅田佳子 ／作・絵 J913ウメ 25×25cm	44	クラスメイトのドンチャンがいじめにあっているのに、ぼくはしらんぷりしてきた。でも、ぼくはしらんぷりを続けることがいたたまれなくなった。
6		セロひきのゴーシュ (児童読み物) 1980年出版 福音館書店	宮沢 賢治／作 茂田井 武／画 J913ミヤ 21cm	44	演奏が一番下手で楽長から叱られてばかりのゴーシュは、演奏会を前にして、訪ねて来る様々な動物たちのアドバイスを受けて練習を続けました。
7		のんびり転校生事件 (児童読み物) 1985年出版 新日本出版社	後藤 竜二／作 田畑 精一／絵 J913コト 22cm	43	転校生の若松君は、九九も言えず、書き取りもダメな子。鉄二は、ずっといじめられっ子だったのに明るい若松君を助けてあげようとする。



【小学校高学年向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
8		100万回生きたねこ (絵本) 1982年出版 講談社	佐野 洋子／絵・文 E七 25×27cm	42	百万回死んで百万回生き返った猫がいました。いつも誰かの猫でした。あるとき、猫は初めて自分の猫、つまりのら猫になり、白猫と出会いました。
9		ペロ出しチョンマ (児童読み物) 1976年出版 理論社	斉藤 隆介／作 J913サイ 23cm	42	死の間際まで妹を笑わせようとする兄の姿を描いた表題作ほか、人間が優しく助け合いながら生きていくことの大切さを切々と物語る短編集。
10		ぼくはくまのままにいたかったのに... (絵本) 1978年出版 ほるぷ出版	イエルク・シュタイナー／文 イエルク・ミュラー／絵 E木 26×26cm	42	熊が冬眠から目覚めると、森はすっかり工場になっていた。「僕は熊だ」と主張しても聞き入れてもらえず、工員として工場で働かされることになる。
11		ルドルフとイッパイアッテナ (児童読み物) 1987年出版 講談社	斉藤 洋／作 J913サイ 22cm	43	魚屋のおじさんに追われた黒猫のルドルフ。逃げ込んだトラックに運ばれて、家から遠く離れた東京に来てしまう。そこで、読み書きができる猫、イッパイアッテナにであう。

【中学生以上向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
1		うさぎの島 (絵本) 1984年出版 ほるぷ出版	イエルク・シュタイナー／文 イエルク・ミュラー／絵 Eウ 33cm	47	食用うさぎ工場で長く暮らしている灰色うさぎは、ある日、連れてこられた茶色の野うさぎに手を貸して、いっしょに工場から逃げ出すが・・・
2		オーロラの下で (読み物) 1983年出版 金の星社	戸川 幸夫／作 石田 武雄／絵 J913トカ 22cm	46	アラスカの町ノームへ、千百キロの道程を血清を運んだ犬ぞり隊があった。リーダー犬はオオカミ王を父に持つ、純白のオオカミ犬バルトーだった。
3		風が吹くとき (絵本) 1982年出版 篠崎書林	レイモンド・ブリッグス ／絵・文 726.1フ 31cm	49	イギリスの田舎で暮らすジムとヒルダの老夫婦を原爆が襲いました。素朴な二人は政府の言うことをひたすら信じ、生き残る努力をするのでした。
4		ガラスのうさぎ (読み物) 1979年出版 金の星社	高木 敏子／作 J913タカ 22cm	46	戦争で家族を失いながらも、けなげに生き抜いた少女の記録。「戦争の悲惨さ、命の尊さを、戦争を知らない世代に伝えたい。」心の叫びが聞こえてくる。
5		木を植えた男 (絵本) 1989年出版 あすなる書房	ジャン・ジオノ／原作 フレデリック・バック／絵 726.6シ 22×29cm	43	一人の男が荒地に木を植え続けた。何年にもわたる献身的な無償の行為が、豊かな緑の森を育て上げ、村ができ、人々の心豊かな暮らしに繋がった。
6		悩みはイバラのようにふりそそぐ (詩画集) 1992年出版 筑摩書房	山田 かまち／画・文 723.1ヤ 22cm	47	多くの絵、詩を残し、17歳で急逝した山田かまちの詩画集。強烈なメッセージを放つかまちの作品は、今なお、人々を惹きつけてやまない。
7		ほんまにオレはアホやろか (読み物) 1979年出版 ポプラ社	水木 しげる／作 J726ミ 20cm	46	妖怪っていうのは本当にいるのではないかと、両親や先生に質問して笑われたことがあった。今、ぼくはその妖怪でめしを食べているのだ。

【中学生以上向】

		書名等	著者	所蔵冊数	内容
8		モモ (読み物) 1986年出版 岩波書店	ミヤザキ・エンデ/作 J943エン 22cm	48	人々はよりよい暮らしを求めて時間を節約し、忙しく暮らすようになっていった。盗まれた時間を取り返してくれた女の子、モモの不思議な物語。
9		わたしと小鳥とすずと (童謡集) 1984年出版 JULA出版	金子 みすゞ/作 911.5カネ 18cm	40	みすゞは、ちいさなもの、弱いもの、無名なもの、無用とされているもの、存在する全てをいとおしむ心を童謡に託した。みんなちがって、みんないいと